

関連分野の知識項目 05

- プロジェクトマネジメント

1. プロジェクト

何らかの目標を達成するための計画を指す。その計画の実現のためのタスクの実行までを含めて指す場合もある。

2. タスク

ひとつの組織、グループ、個人が実行する短期的な活動。

3. プロジェクトマネジメント (Project Management)

プロジェクトを成功させることを目指して行われる活動のこと。プロジェクトを構成する各活動の計画立案、日程表の作成、および進捗管理が含まれる。

4. PMBOK (Project Management Body of Knowledge)

プロジェクトマネジメント協会(PMI)が発行する、「プロジェクトマネジメント知識体系ガイド (A Guide to the PMBOK)」。

- ✓ PMBOK ガイド

プロジェクトマネジメントの知識体系の国際標準。ソフトウェア開発を含む多様なプロジェクトで適用できるマネジメントの基盤を提供している。第5版では、47個のプロセスを、幅広いプロジェクトに適用可能な5個の基本的なプロセス群と10個の知識エリアに分類している。

5. プロジェクトマネージャ

プロジェクトの計画と実行において、総合的な責任を持つ職能あるいは職務。

6. プロジェクト統合マネジメント (Project Integration Management)

プロジェクトマネジメントにおけるプロジェクトマネジメント知識エリアのひとつ。プロセスを相互に調整したうえでプロジェクトとしての目標の達成を図る活動。PMBOKでは、(1)計画の策定、(2)計画の実行、(3)統合変更管理の三つのプロセスで定義している。

7. スコープ

プロジェクトが提供するプロダクト、サービスなどの所産(作り出したもの)の総体。

✓ 成果物スコープ

プロダクト、サービス、所産が持つ特有の特性や機能のこと。プロジェクトにおいてどのような成果物を作成すればよいかを定義したもの。

✓ プロジェクトスコープ

成果物スコープを元に作成される、規定された特性や機能をもつプロダクト、サービスなどを生み出すために実行する必要がある作業。

8. プロジェクトスコープマネジメント(Project Scope Management)

プロジェクトにおける作業の範囲を明確にするとともに、作業の抜け落ちや余剰を防ぐことで、プロジェクトの目標の達成を図るプロセス。

9. WBS(Work Breakdown Structure)

プロジェクトマネジメントで計画を立てる際に用いられる手法のひとつ。プロジェクト全体を細かい作業に分割した構成図。

10. アクティビティ

プロジェクトのワークパッケージをより小さく、よりマネジメントしやすい単位に分解したもの。

11. ベースライン(Baseline)

計画された基準値のことで、実績と計画を比較することによって、プロジェクトの進捗が順調か否かを判断できる。

12. プロジェクト人的資源マネジメント(Project Human Resource Management)

プロジェクトのステークホルダを、プロジェクトの目的達成のために効果的に活用するための活動。PMBOKでは、(1)組織計画、(2)要員調達、(3)チーム育成の三つのプロセスで定義している。

13. PMO(Project Management Office)

組織内における個々のプロジェクトマネジメントの支援を横断的に行う部門や構造システム。組織における個々のプロジェクトマネジメントの支援を行う。

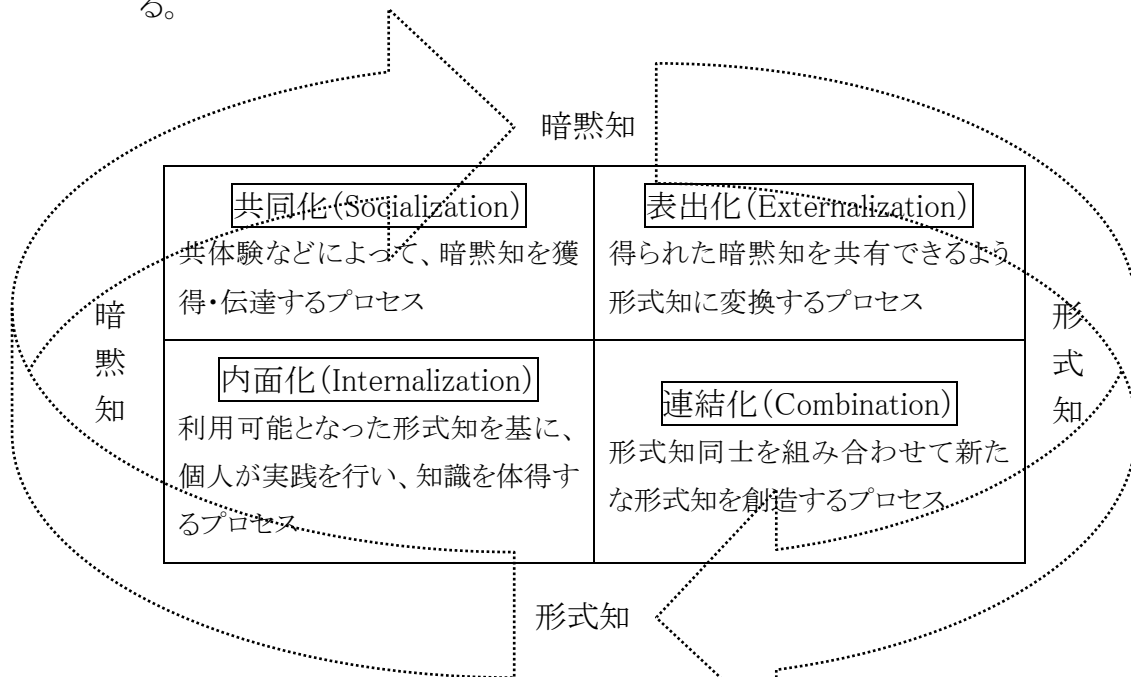
14. プロジェクトタイムマネジメント (Project Time Management)
納期を守るための管理。PMBOK では、(1)アクティビティ定義、(2)アクティビティ順序設定、(3)アクティビティ所要期間見積り、(4)スケジュール作成、(5)スケジュールコントロールの五つのプロセスで定義している。
15. PERT (Project Evaluation and Review Technique)
プロジェクトの完遂までに必要なタスクを分析するプロジェクトマネジメントモデル。PERT 図は、線表を矢印で相互接続した「アローダイアグラム」。
16. プロジェクトコストマネジメント (Project Cost Management)
承認された予算以内にプロジェクトを完了させるための必要な作業の集まり。PMBOK では、(1)資源計画、(2)コスト見積り、(3)コストの予算化、(4)コスト・コントロールの四つのプロセスで定義している。
17. リスク
ある事象の変動に関する不確実性。ある行動に伴って、危険に遭う可能性や損をする可能性を意味する概念とする用法があるが、プラスの影響、マイナスの影響どちらも与えるものとして、「Hazard」と区別される。
18. プロジェクトリスクマネジメント
プロジェクトのリスクを識別し、分析し、対応するための系統的なプロセス。
19. プロジェクト品質マネジメント (Project Quality Management)
成果物が与えるニーズに対する満足を実際にするために、品質方針、品質目標、品質に対する責任などを決定するプロセス。
20. プロジェクト調達マネジメント (Project Procurement Management)
外部から物品やサービスを取得する際に、その引き合いから契約完了までをマネジメントするプロセス。PMBOK では、(1)調達計画、(2)引き合い計画、(3)引き合い、(4)発注先選定、(5)契約管理、(6)契約完了の六つのプロセスで定義している。
21. プロジェクトコミュニケーションマネジメント
プロジェクトを成功に導くためにステークホルダの間で、個々の考えや共有すべき情報の流通を密接にするプロセス。PMBOK では、(1)コミュニケーション計画、(2)情報配布、(3)実績報告、(4)完了手続きの四つのプロセスで定義している。

22. ナレッジ・マネジメント (Knowledge management)

チームや個人が仕事を通して得ながら蓄積される知識の価値に着目して、それを積極的にマネジメントに生かそうとする手法。個人やチームに蓄積された知識を「暗黙知 (Tacit Knowledge)」としてデータベースに蓄積し、体系的な「形式知 (Explicit knowledge)」に変換して、組織の共有財産として活用することを目指す活動。

[参考] SECI モデル

野中郁次郎教授らが示したプロセスモデルで、ナレッジ・マネジメントの基礎理論として知られる。知識の共有や活用によって優れた業績を挙げている「知識創造企業」がどのようにして組織的知識を生み出しているかを、共同化 (Socialization)、表出化 (Externalization)、連結化 (Combination)、内面化 (Internalization) のプロセスに分類し、知識を体得するプロセスを解明している。



引用:野中郁次郎、竹内弘高、梅本勝博「知識創造企業」

下記の練習問題で理解を深めましょう！



- ✓ 情報セキュリティマネジメント試験合格講座 <http://rakupass.com/security/>

Copyright © RakuPass.Com - Kanya Ishikawa All Rights Reserved.